



郡上市教育委員会

第2回 郡上市文芸祭表彰式

平成27年7月19日(日)に市総合文化センターにおいて、第2回郡上市文芸祭表彰式が開催されました。今年度は、一般・ジュニア共に応募が増え、総数2577点の中から、一般の部(現代詩・短歌・俳句・川柳・狂俳)19点、ジュニアの部(現代詩・短歌・俳句)8点の優秀作品が選ばれました。

- ◎一般の部入賞者：
 ▼宗祇常縁賞【短歌】加藤直子(大和町) ※文芸祭賞より1点選出 ▼郡上市文芸祭賞【現代詩】河合あや(八幡町) 【俳句】和田和美(高鷲町) 【狂俳】竹腰哲夫(八幡町) ▼郡上市長賞【現代詩】河合みさを(美並町) 【短歌】岩佐ハル子(飛騨市) 【俳句】高橋安弘(美並町) 【川柳】平野花子(八幡町) 【狂俳】小鎗恒夫(八幡町) ▼郡上市教育長賞【現代詩】萱場振一郎(明宝) 【短歌】大栗紀美子(岐阜市) 【俳句】曾我とし子(白鳥町) 【川柳】日置幸子(八幡町) 【狂俳】大坪 允(明宝) ▼郡上市文化協会長賞【現代詩】

丹羽小織(瀬戸市) 【短歌】小島くにゑ(大和町) 【俳句】古田ゆき子(美濃市) 【川柳】楠正子(八幡町) 【狂俳】井藤慧(八幡町)
 ※他入選作品41点
 ◎ジュニアの部入賞者：

▼最優秀賞【現代詩】奥村杏奈(八幡小) 【短歌】下廣晃平(大和北小) 【俳句】森菜々香(小川小) ▼優秀賞【現代詩】小林桜(白鳥中) 【短歌】野田しゅう子(大和北小) 【短歌】田代琉(大和中) 【短歌】白田和哉(大和南小) 【俳句】福田詩乃(白鳥小)
 ※他入選作品55点
 ◎なお、入選された人の作品を掲載した冊子を作成しています。頒布もしておりますのでご興味のある人は、お問い合わせください。(1冊300円)

第3回白山文化ゼミ ナール受講生の募集

美濃馬場のあつた長滝白山神社では、白山信仰に関わる神事芸能「長滝の延年」が古くから



伝えられています。このほかにも白山山麓においては、能郷白山の神事能のように今も続く神事芸能がたくさんあります。これらの神事能の関わりや、長滝以外にも各地に伝わる能楽面などから、白山信仰の神事芸能について解説をいただきます。
 9月19日(土) 午後1時30分〜午後3時
 白鳥ふれあい創造館
 美濃馬場と白山信仰の神事芸能
 講師：曾我孝司先生(郡上市文化財保護審議会委員)
 9月16日(水) までに社会教育課まで、電話またはファックスでお申し込みください。(氏名・住所・連絡先)
 教育委員会社会教育課
 67・1128
 65・2584



ごみ処理量の推移 (単位: t)

	4月	5月	6月	
可燃ごみ	970	997	955	
内訳	収集	512	510	486
	直接搬入	292	318	288
	下水汚泥ほか	166	169	181
資源ごみ	216	202	253	

る法律により、廃棄物の野外焼却(野焼き)は一定の例外を除き禁止されています。野焼きは、ダイオキシンが大気中に排出され、自然環境や人体に悪影響を及ぼします。また、ばい煙や臭気、地域の生活環境に支障が生じる恐れがあります。違反した場合には、5年以下の懲役、または1千万円以下(法人は3億円以下)の罰金が科せられます。

◎法令で定められている例外
 例外として焼却が認められる場合があります。

▼風俗習慣上、または宗教上の行事を行うために必要な廃棄物の焼却
 ▼農業、林業または漁業を営むために必要な廃棄物の焼却
 ●例えば：農業者が行う稲わら等の焼却、林業者が行う伐採した枝等の焼却
 ▼日常生活を営む上で、通常行われている廃棄物の焼却であって軽微なもの
 ●例えば：キャンプファイヤー等を行う際の薪等の焼却、たき火

下水道に異物を流さないでください

「流してみたら流れた! よかつた!」は違います。家庭から出た排水は下水管を流れて処理場に到達します。下水管のマンホールには要所に汚水を汲み上げるポンプが設置してありますが、最近、ポンプに異物が詰まるトラブルが増加して困っています。

異物混入によるトラブルは年間約200件発生しています。こうしたことが原因でポンプが故障すると、汚物が溢れたり、近隣のご家庭の下水道が使用できなくなることもあります。

◎こんなものが流れてきてポンプが停止しました。
 ペーパータオル類、タオル類、下着、生理用品、便座等のクリーニングシート(水に流せる)と表示があっても実際には水に溶けるまでに相当の時間を要するものがあります

環境水道部環境課
 67・1833または各振興事務所振興課

廃棄物の野外焼却は禁止されています

廃棄物の処理及び清掃に関する

4月から6月にかけてのごみ処理量は、例年並みとなりました。毎月、みなさんにはごみ減量をお願いしていますが、引き続きごみ減量への取り組みにご協力をお願いします。生ごみは、ダンボールコンポスト・生ごみ処理機で堆肥化することが出来ます。可燃ごみとして出す時は、水切りにご協力をお願いします。また市ホームページに「生ごみから元気な野菜づくり」の内容を紹介していますので、ぜひご覧ください。

環境水道部水道総務課、水道工務課
 67・1129または各振興事務所振興課

図書館だより

「戦争と人間」

自らの従軍体験を踏まえ、軍隊や戦争の理不尽を書き続けた作家の五味川純平さんと、五味川さんの助手を務めたノンフィクション作家の澤地久枝さんを紹介いたします。

8月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

※分室は、15日(土)臨時休館します。
 ※わら分室は、日月祝日が休館になります。
 ※めいほう分室は、第1土曜日以外は土日祝日が休館になります。



発売されるやたちまち爆発的ベストセラーとなった『人間の条件』の熱い読者であったという澤地久枝さん。編集者として、五味川さんに何か書いてもらいたくて、会いに行ったのが発端で、以後10年にわたって長編『戦争と人間』の助手として、資料集めをし、巻末に詳細な註をつける

『澤地久枝』1930年東京に生まれる。4歳で渡満。16歳で敗戦を迎え、1年間の難民生活の後、引き揚げる。早大卒。『婦人公論』編集次長を経て作家に。『戦争へと至った実相に迫るノンフィクション』を著した業績によって2008年度朝日賞受賞。

生活に入ります。「戦争と人間」は戦争の昭和を小説で書くという壮大なテーマでした。いわゆる満州二世であった五味川さんは、「長じて判断力が備わってくるにつれて、加害民族に属していることの責任は否応なくその心身にこびりついてくる」と語っていたそうです。

そこでの経験からフリーの物書きとしてリスタートをすることになる澤地久枝さん。仕事のあてもなく、なにを書いたらいいのか迷っていた澤地久枝さんに、「乾いた文体で昭和史をお書きなさい」とアドバイスしたのは同じ作家の大江健三郎さんでした。1972年、『妻たちの二・二六事件』を刊行。以後本格的に執筆に取り組み、戦争や戦争に翻弄される人びと、歴史によって抹殺された人間の記録を書く方向を手探りして生きてきたといえます。

戦争とは：経済を得意分野とする五味川さんによれば「戦争は経済だから」とのこと。一方澤地久枝さんは「敗戦後、満洲で軍隊は頼りにならないと身をもって体験した」と振り返ります。

図書館行事一覧

行事名	日程	時間	館名
世代を超えて語り継ぎたい戦争文学	1日(土)~30日(日)		本館
夏の夜のこわ〜いおはなし会	7日(金)	19:30~	〃
おはなしひろば	毎週(土)	14:00~	〃
おとなの学校「石徹白御師の檀那場 巡回をたどるI」	8日(土)	10:00~	〃
おとなの学校「金融早わかりQ&A」	30日(日) 29日(土)	10:00~	はちまん
「郡上おどり歴代ポスター」展	~27日(木)		〃
おはなし会	8・29日(土)	14:00~	〃
おはなし会	毎週(土)	10:30~	やまと
おはなし会	8日(土)	10:30~	たかす
ブックリサイクル市	29日(土)	13:00~	みなみ
大人も楽しめる絵本の世界	29日(土)	13:00~	〃
おはなし会	1日(土)	10:00~	めいほう
おはなし会	8日(土)	14:00~	わら